

一 般 質 問

令和4年第4回定例会（12月13・14日）

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る
村山 一彦	<p>1. 府道木津信楽線の整備について</p> <p>(1) 府道に出ている立木の管理責任はどこにあるのか（府・町・個人）。</p> <p>(2) 府からの森林環境税の交付金を整備に充てられないか。</p> <p>(3) 観光事業を推進している町としては不親切ではないか。</p> <p>(4) 奈良交通バスより苦情はないのか。</p> <p>2. シルバー人材センターについて</p> <p>(1) 3年前、東部3町村で広域シルバー人材センター設立を目指し、検討するとの答弁をいただいたが、進捗状況は。</p> <p>(2) 和束町は少子高齢化が進み、独居世帯も増え、耕作放棄地も増えている。その管理に苦勞されている。その手助けを町がすべきでは。</p>	<p>町長 総務課長 建設事業課長 農村振興課長</p> <p>町長</p>
畑 武志	<p>1. 町道整備事業について</p> <p>(1) 主要地方道木津信楽線、町道和束笠置線アクセス道路の整備について</p> <p>2. 移住定住事業について</p> <p>(1) 空き家対策（バンク）の現状について 空き家バンクの現状は。問い合わせ件数。実績。</p> <p>(2) 移住・定住促進と快適な住環境整備について 移住・定住への支援状況は。実績と見えてきた課題は。</p> <p>(3) 新たな産業の創出は 空き家等を活用した民間業者への支援は。その実績と課題は。</p> <p>3. 新型コロナワクチン接種の今後の動向について</p> <p>(1) 自己負担額は決定しているのか。</p> <p>(2) 自己負担額に対しての町独自の支援は検討されているか。</p>	<p>町長 副町長 建設事業課長</p> <p>地域力推進課長</p> <p>町長 福祉課長</p>

<p>高山 豊彦</p>	<p>1. 上下水道事業の課題</p> <p>(1) 本年9月議会の一般質問において、「施設利用をどう管理・運営していくのかが大きな検討課題として、下水道委員会で議論をしていただく」との答弁をいただいたが、どのような課題について諮問されるのか。</p> <p>(2) 浄化槽の管理費については、年々値上げがあり高齢世帯においては大きな負担となっている。下水道料金と浄化槽管理費との差額について、新たな補助制度の検討が必要と考えます。その差額の対策についての考え方は、具体的に令和5年度予算における取組は。</p> <p>(3) 簡易水道事業の広域連携への取組について、担当する建設事業課に確認したところ、「簡易水道事業の広域連携については、京都府下を大きく3ブロックに分け取組が始まっている。」とのことですが、メリットと課題は。</p> <p>(4) 上下水道事業・合併処理浄化槽整備事業による汚水処理事業の促進及び課題について、効率的に事業を進めるための取組は。</p>	<p>町長 副町長 建設事業課長</p>
	<p>2. 茶産業維持の取り組み</p> <p>第5次総合計画では、「お茶観光を軸とした交流の郷」として「和東ブランドの形成を含めた、“町全体がお茶のテーマパーク”という考え方に基づく施策を展開」とありますが、令和5年度予算への具体的な取り組みは。</p>	<p>町長 農村振興課長</p>
	<p>3. 総合保健福祉施設整備全体計画について</p> <p>総合保健福祉施設完成後の役場周辺のランドデザインは描かれているのか、特に施設への進入路、施設収容人数対応の駐車場計画などは、どの段階で住民に示す計画となっているのか、令和5年度当初予算編成時期でもあり、施設建設事業費、外構整備費、総事業費は既に算出され、通常ならイメージ図などがあり公表されているはずだが、現在の進捗状況は。何時、どの段階で公表するのか。</p>	<p>副町長</p>
	<p>4. 妊娠期から出産・子育てまでの支援について</p> <p>国は妊娠期から出産・子育てまで伴走型相談支援と経済的支援として、出産・子育て応援交付金を、令和4年度第2次補正予算案に計上されました。本町においては子育て世代包括支援センター等による支援や、今年度からは出産時の子育て応援給付金、0歳から2歳児の保育料の無償化など、経済的な支援も実施されているところですが、具体的に妊娠期から出産後において、どの段階でどのような支援が行われているのか。また、国の交付金を活用しどのような支援を検討されているのか。</p>	<p>町長 福祉課長</p>

岡本 正意	<p>1. 水道事業について</p> <p>(1) 広域化で水道事業の公共性を保持、増進できるのか。</p> <p>①町長が、過日の「第1回京都府水道事業広域連携等推進協議会」で府が示した広域化方針に賛同した理由は何か。</p> <p>②「広域化」は水道法上の義務なのか。</p> <p>③府計画案では料金値上げを当然視し、水道法の目的である「低廉な水の供給」をどう保障するのかに全く触れていないが、「低廉な水の供給」はどう保障するのか。</p> <p>④府計画案では、「公民連携」「民間活用」等、将来的な民営化につながる方向性も示している。これは「水道の公共性」と相容れないのではないか。</p> <p>⑤府計画案では、「水道事業の経営危機」への対策として国や府の公的責任や財政支援強化に全く触れていない。国や府にふさわしい責任と財政支援強化を求めるべきではないか。</p> <p>⑥協議会や府計画案の内容を議会、住民に丁寧な説明と情報提供を。</p> <p>(2) 水道料金等の負担軽減について</p> <p>①物価高騰等での生活や生業の困難はますます大変であり、来年度以降も基本料金免除を最低でも実施を。</p> <p>②下水道やくみ取り料金の減免の検討、実施を。</p>	町長
	<p>2. 定住促進のための公的住宅の整備、確保を</p> <p>(1) トンネル開通も控え、定住促進のための住宅整備や確保が急がれる。公的住宅の一定数の整備と確保に向けて計画をもち具体化を。</p> <p>(2) 一定数の空き家を町が借り上げ、必要な改修を施し、定住促進用の公的賃貸住宅の整備の検討を。</p> <p>3. シルバー人材センターの開設を</p> <p>(1) 開設に向けた進捗状況は。</p> <p>(2) 来年度には開設できるよう取り組み強化を。</p>	町長 福祉課長

<p>藤井 清隆</p>	<p>1. 現在日本では地球温暖化阻止の為に CO₂削減を迫られ、またロシアによるウクライナ侵攻以来、国防の強化や経済の安定化という大きな課題に直面しておりますが、本町に於ても自立自存の心がまえで、地域の特性を発起する、次のような施策は可能であるか、問いたい。</p> <p>(1) 再生可能エネルギーを活用すること (太陽光、木質バイオ…)</p> <p>(2) 自給的食糧や自前の肥料－町民皆農化のすすめ</p> <p>(3) 町民を守る為の核シェルターの建設</p> <p>2. コロナ禍に於ける心の傷について</p> <p>(1) 病院や介護施設で、コロナによる面会の制限によって、利用者や家族が受けた心の傷はどのようなものであったか、どう対応されたか。</p> <p>(2) 特にコロナによる死亡者についての対応は、不尊極まりないものであり、医療の腐敗ともいえるものである。事例があれば紹介されたい。</p> <p>(3) また、幼児や発育期の子供にとって、長期のマスク生活は成長の為の人との接触機会の喪失という大きな汚点を残すと思われるが、どのように考え、どう対応されたか。</p>	<p>町長 建設事業課長 農村振興課長 総務課長</p> <p>町長 診療所事務長 福祉課長</p>
--------------	--	--